

当科は9月2日(木)から満12歳以上で新型コロナワクチン予約可に

当科独自の基準で9月2日(木)から満12歳以上の方は予約いただけます。8月24日(火)から妊婦の方及びご家族・パートナーさんも優先になっていました。当科では8月30日(月)から今年度30～39歳の方が予約可能になり、9月2日(木)から制限なしとなりますが、当分需要と供給のバランスが悪いだろうと思います。11月中位には希望者全員が終了する予定ですので、節度ある行動をお願いします。当科はファイザーワクチンを使用しています。1回以上モデルナワクチンを打たれた方は当科では打てません。オンラインでの予約になっており、詳しくは当科ホームページをご覧ください。予約が不要になりましたら、必ずキャンセルしてください。

塩野義製薬の新型コロナウイルス内服薬に期待

塩野義製薬は7月26日、同社が創製した新型コロナウイルス感染症治療薬「S-217622」の国内第1相臨床試験(P1)を始めたことと発表しました。新型コロナウイルスが増殖するときに必須の酵素である3CLプロテアーゼを選択的に阻害する軽症者向けの薬で、1日1回投与の経口薬として開発が進められています。SARS-CoV-2感染動物を用いた非臨床試験において、ウイルス量を速やかかつ有意に低下させることが確認され、7月22日に健康成人75人に初回投与された臨床試験で7月26日までに安全性上の懸念は確認されていないといえます。早ければ年内に国内で100～200万人分の供給体制が整備される予定です。当分は大人対象でしょうが、対処しやすくなります。

出典:化学工業日報 HP『塩野義製薬、コロナ薬の国内P1開始、1日1回の経口剤(2021年7月26日)』、塩野義製薬 HP『新型コロナウイルス感染症(COVID-19)治療薬S-217622の臨床試験開始について-経口抗ウイルス薬の国内第1相臨床試験開始-』

新型コロナ、年齢層別、重症化要因別死亡率

2021年4～6月に感染が判明した約32万人のデータのうち、9つの重症化リスク要因の有無が記載されていた約10万人についての死亡率を厚生労働省が調べました。COPDは慢性閉塞性肺疾患のことです。また、当然でしょうが、リスク要因が多く持っている人ほど死亡率が高くなっていました。

【65歳以上】	保有者 致死率	非保有者 致死率	【50～64歳】	保有者 致死率	非保有者 致死率	【40～49歳】	保有者 致死率	非保有者 致死率
慢性腎臓病	18.0%	(5.30%)	慢性腎臓病	6.59%	(0.31%)	慢性腎臓病	1.42%	(0.07%)
免疫抑制	14.4%	(6.64%)	COPD	3.56%	(0.33%)	肥満	0.84%	(0.06%)
COPD	13.4%	(5.63%)	悪性腫瘍	2.28%	(0.33%)	糖尿病	0.65%	(0.07%)
悪性腫瘍	11.8%	(5.40%)	免疫抑制	2.07%	(0.44%)	高血圧症	0.57%	(0.06%)
糖尿病	8.15%	(5.47%)	肥満	1.35%	(0.32%)	悪性腫瘍	0.47%	(0.08%)
肥満	7.69%	(5.69%)	糖尿病	1.16%	(0.29%)	脂質異常症	0.28%	(0.08%)
高血圧症	7.03%	(5.42%)	高血圧症	0.66%	(0.33%)	喫煙	0.10%	(0.08%)
喫煙	6.93%	(5.53%)	喫煙	0.55%	(0.36%)	免疫抑制	0%	(0.14%)
脂質異常症	5.99%	(5.78%)	脂質異常症	0.53%	(0.35%)	COPD	0%	(0.08%)

出典:厚生労働省 HP『第49回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード(2021年8月25日) 資料4-3 新型コロナウイルス感染陽性者の重症化リスク因子への対応等』

日本の子宮頸がん、過去10年の罹患率増は世界ワースト

Cancer誌オンライン版8月9日号に掲載された、中国研究チームの調査結果です。2018年の子宮頸がん罹患率と死亡率をGLOBOCANデータベースから抽出し、子宮頸がんの罹患率・死亡率と、人間開発指数(社会経済的発展の指標)との関連を調べたところ、日本の2003～2012年の10年間の平均年間変化率として、罹患率が+4.2%、死亡率が+0.5%でした。大半の国がマイナスとなる中、日本の罹患率の平均年間変化率は調べた31か国で最も高く、同死亡率は二番目に高いものでした。筆者らは「特に、効果的な子宮頸がん検診プログラムと子宮頸がんワクチン接種を実施している国では、発生率と死亡率が横ばいまたは減少傾向にある国が圧倒的に多かった」としています。

出典:ケアネットHP『日本の子宮頸がん、過去10年の罹患率増は世界ワースト 公開日:2021年8月17日』、原論文『Worldwide Trends in Cervical Cancer Incidence and Mortality, With Predictions for the Next 15 Years』

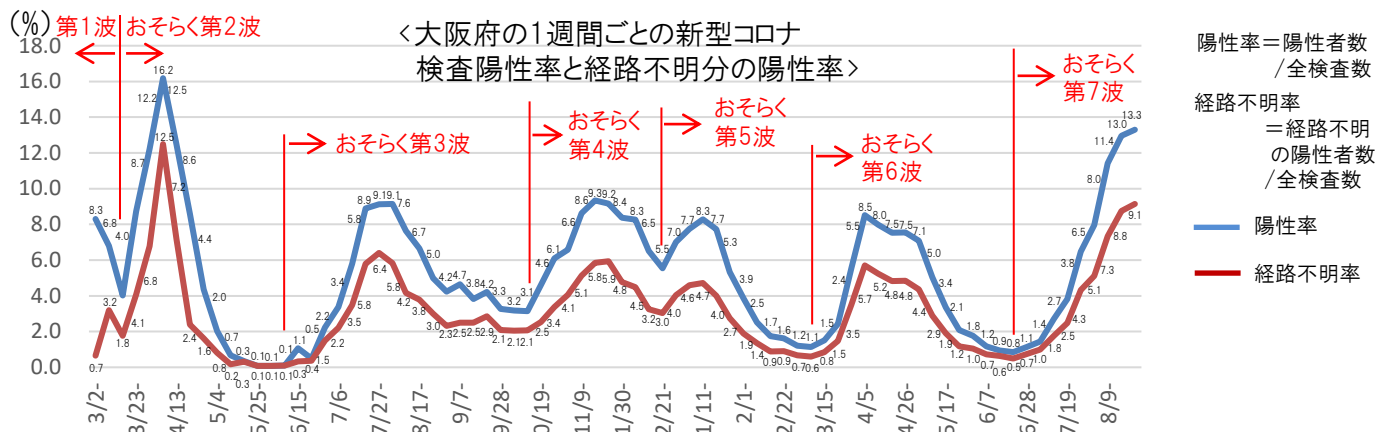
製薬会社が厚生労働省に「HPVワクチン廃棄なら国際的に批判」と警告

4価の子宮頸がん(HPV)ワクチン『ガーダシル®』を製造販売するMSD社は厚生労働省に対して、

文章で「世界的な需要の高まりの中、日本を優先して確保したワクチンを廃棄せざるを得なくなるリスクがある」と懸念を表明しました。ガーダシル®は海外で製造され、日本用に量を確保された後、日本の規格に合わせて調合、出荷の1年前に充填され、日本向けのパッケージが付けられるので、他国への転用は事実上難しいといえます。厚労省予防接種室からの要請を受けて、接種率が回復しても支障を来さない程度の量のワクチンを日本向けに確保しているのに、公式の手続きが一向に進んでいないことに痺れを切らしたようです。2021年10月の積極的勧奨再開を見越して既に到着しているワクチンは早くも2022年4月から順に廃棄処分が始まります。

出典: BuzFeed HP『製薬会社が厚労省に警告「HPVワクチン廃棄なら国際的に批判」(2021年8月28日)』

大阪府の新型コロナ感染症陽性率・経路不明率、ピーク手前？



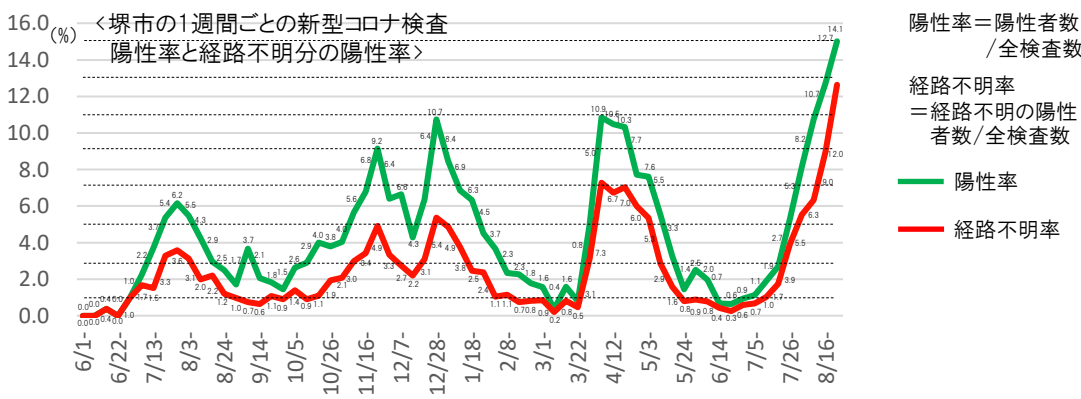
大阪府の新型コロナ検査陽性率・経路不明率はまだピークを越えていません。

出典: 大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2021/8/29』

堺市の新型コロナ感染症陽性率・経路不明率とも過去最悪

堺市の陽性率や経路不明率はかつてない程度悪化してきています。経路不明率が高率であり、感染力の高さが疑われます(空気感染並み?)。

出典: 堺市危機管理室 Twitter 最終更新 2021/8/29



車待機方式を継続中

日本脳炎ワクチンはかなり手に入りにくいままです。

先月号で少し流通するかもとしていた日本脳炎ワクチンですが、結局かなり手に入りにくいままです。下記の優先条件で、ワクチンが確保ができてからの接種になっています。

- ① 今からⅠ期の1回目・2回目の方
- ② 来年早々までに定期接種の期限を迎える方
- ③ 2003年(平成15年)度生まれで通知が届いた特例対象者の方

ムンプスワクチンも10月末までかなり手に入りにくい状態です

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種 受付中

9月・担当医の変更

なし